

新人総体激励会 大会での経験を糧に成長を!

9月10日(火)の6校時に、新人総体激励会を開催しました。今までチームの主力であった3年生が引退し、2年生・1年生が主体となって臨む初の公式戦です。

本校では、2年生が少ないため、1年生も含めて、まだまだ伸びしろのあるチームです。大会ですから勿論勝敗は大切ですが、まずは、相手にひげをとらない強い気持ちで戦い、今後の成長の礎を築いてくれることを期待しています。全力を尽くして戦い、その先にあるものをつかんで来てくれることを願っています。保護者の皆様からのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。



栄光の紹介

9月7日(土)に開催された招待試合の結果です。

☆中仙招待卓球大会 男子団体優勝

☆第43回生保内中学校招待野球大会第3位

3年保育実習 かわいいけど、子育ての大変さを実感!

3年生の家庭科学習の一つに「保育」がありました。3年生がお隣の保育園を訪問しました。中学生の大きいお兄さん、お姉さんたちがくさんの遊び道具を持って来てくれたので、園児たちは大喜びで迎えてくれました。

この日のために作ったいろいろな遊具に、園児たちが大喜びで遊んでくれると、3年生の表情にも満足感や充実感があふれていました。また、園児たちの予想もしない動きや場面もあり、改めて子育ての大変さも少し垣間見ることができたのではないのでしょうか？



わたしの主張 2019

県南地区予選大会 優良賞受賞

9月5日(木)の午後、市民会館「ドンパル」を会場にして、第41回少年大会が開幕しました。本校からは3年池田典太さんが参加し、『合同チームに「感謝」という演題で発表し、優りという賞を受賞しました。1年と良賞には野球部に入学して、全大会出場を果たすまで、入部して練習や試合も増えてきました。自信がつけました。両校の雰囲気も明るく、今までの練習を振り返ると、五月に腰に痛みを感じ始めました。病院に行きました。診断の結果は「腰椎分離症」。腰の骨にひびが入っている、まずは三週間安静、とにかく治療に専念を、と言われ、夏の大会までほとんどマウンドに立てないまま、三年生最後の大会を迎えました。痛みはだいぶおさまっている、と思いきや、投げ始めてすぐに腰に痛みが走り、投げられなくなりました。ここまで来たら、あとはもう完投できることを祈りながら投げ続けるだけです。途中、ヒットを打たれたり、ボールが先行する苦しいピッチングになったりしつつも、味方の援護もあって勝利を重ね、ついに優勝を果たしました。試合終了後、野球部全員で整列し、生保内中学校と豊成中学校、二校の校歌を全力で歌ったときの感動は、これからもずっと心の中に残ることでしょ。



「・・・そして、三年生になり、野球部に入部しました。豊成・生保内両チーム揃っての練習や試合も増えてきました。自信がつけました。両校の雰囲気も明るく、今までの練習を振り返ると、五月に腰に痛みを感じ始めました。病院に行きました。診断の結果は「腰椎分離症」。腰の骨にひびが入っている、まずは三週間安静、とにかく治療に専念を、と言われ、夏の大会までほとんどマウンドに立てないまま、三年生最後の大会を迎えました。痛みはだいぶおさまっている、と思いきや、投げ始めてすぐに腰に痛みが走り、投げられなくなりました。ここまで来たら、あとはもう完投できることを祈りながら投げ続けるだけです。途中、ヒットを打たれたり、ボールが先行する苦しいピッチングになったりしつつも、味方の援護もあって勝利を重ね、ついに優勝を果たしました。試合終了後、野球部全員で整列し、生保内中学校と豊成中学校、二校の校歌を全力で歌ったときの感動は、これからもずっと心の中に残ることでしょ。三年間、さまざまな形で合同チームを組んで、次々にチームメイトが変わることへの不安や、チームのメンバーが変わる度に、細かい約束事や守備の連携などをひとつひとつ確認する過程など、大変なことたくさんありましたが、自分たちの力だけでは野球ができてきたからこそ、自分やチームを支えてくれたたくさんの方たちへの感謝を、より深く感じることができました・・・」